

久しぶりの北海道での開催は大盛況！ 善循環の輪 北海道の集い in さっぽろ



400 人以上が出席したアークシティホテル会場

北海道札幌市で昨年 10 月 28 日（土）、99 回目の善循環の輪の集いが新さっぽろ駅に隣接する「アークシティホテル」で開催されました。東京以西は台風 22 号の影響で大雨や強風でしたが、開催地札幌はナナカマドが真っ赤に紅葉して青空とのコントラストが見事で晩秋としては暖かい気候でした。

10 年ほど前の 2008 年に函館で開催されて以来の北海道での集いは、道内ばかりか東北地方などから約 400 人が集まり、会場に立見席ができるほどでした。5 時間を超す事例発表や比嘉照夫教授の講演など長時間にも関わらず観客の多くは熱心にメモを取り聞き入っていました。

事例発表は、①道内屈指のクリーニング会社を運営する菊地紀雄氏による「人と自然にやさしい EM クリーニング」、②福祉施設「安心生産農場」施設長高橋孝治氏による「EM 活用で合鴨飼育と有機農業」、③三澤牧場三澤弘則氏による「EM 活用の酪農経営」、④K & K の石川文雄氏と大塚ファームの大塚裕樹氏による「三笠市の生ごみ全量 EM 肥料化と有機農業の 6 次産業化」、⑤今や米国ニューヨークにも進出する J A 新篠津の専務であり自らも EM 自然農法の実践者で卓越したリーダーでもある早川仁史氏による「EM 自然農法歴 25 年」、⑥認定 NPO 法人地球環境共生ネットワーク理事の小川敦司氏による「農薬を使用しない除草対策ほか」が行われました。この中で、小川理事による塩活用や整流技術による害獣対策等には驚きと感嘆の声が上がっていました。

続いて行われた比嘉照夫教授による「最新の EM 技術」では、著書「愛の微生物のすべて」の紹介を兼ねて新量子力学を分かりやすく講演しました。

このイベントには、北海道庁の副知事はじめ農林部障部の方々も出席され、特に比嘉教授の講演には高く関心を持たれたようでした。



EM 最新技術の塩活用農法での分析結果を説明する比嘉教授